

2019年度 発達支援つむぎ 吉祥寺ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。利用者アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
環境・体制設備について	1 入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するに当たり安全な環境であるか。	2.8	日々の清掃以外にも、手の空いているスタッフが整理整頓に努め、安全な環境づくりに配慮しております。
	2 職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.2	
	3 ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		つむぎを利用していることを知られたくない方がいるため、なかなか地域に開けていくことが難しい。→保護者さまがどうしても外出してほしくないとお望みの場合は外出を強要するものではありません。ただ、実体験を通して生きる力を養っていくための探求は室内であってもできると思われれますので、引き続き検討していきたいと思います。
業務改善について	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	2.8	水曜日の午前中に会議を設け、職員の育成や、業務の共有、見直しなどの時間に充てております。参加できなかった職員には、個人的に声をかけ、共有できるよう努めております。
	5 保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	3.5	
	6 この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	3.5	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.0	
	8 職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.7	水曜日の午前中に会議を設け、年間で計画を立てて研修を行っております。療育のスキルのみにとどまらず、社会の変化や最新の教育の流れについて学んだり、社会人としてのマナーや危機管理などについても学んだりしております。
	9 業務改善について、ご意見をお聞かせください。		
適切な支援の提供について	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.3	
	11 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.3	
	12 グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.5	指導の後には必ず振り返りの時間を取り、お子さま一人ひとりの様子を多角的に見て、支援の方向性を考えています。常に個別支援計画と照らし合わせながら次なる目標を考え、必要であれば保護者さまと相談の上、書き換えを行っております。
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3.7	
	14 プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.2	
	15 支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.3	
	16 日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.8	
	17 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	4.2	
	18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか。（自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など）	3.2	全ての職員がガイドラインを常携し、読み込んでおります。ガイドラインに沿った活動となるよう、日々計画と振り返りを繰り返していこうと思っております。
19 適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。			
関係機関や保護者	20 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.0	
	21 所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.7	
	22 児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	2.8	年に4回の武蔵野市の事業所連絡会には必ず出席し、情報を共有しています。新規事業所の見学会や、相互研鑽のための勉強会などにも積極的に参加しております。
	23 児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	2.7	次年度は、就学後のお子さまの姿を見据えてお話ができるよう、放課後等デイサービスや小学校との連携に力を入れてまいります。
	24 児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.2	センター機能を備えている武蔵野市のハビットが主催する事業所連絡会に参加して情報を共有したり、市が主催する研修に参加して研鑽に努めるなどしています。また、必要な時には電話にて即時に情報共有できる体制を作っています。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
との連携について	25 地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.0	年に数回ある社会福祉協議会に出席させていただき、地域との連携を図っております。
	26 障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	2.5	月に1度の体験学習は、ごきょうだい児も一緒に参加できる活動を用意しております。また、地域の公園に行った際には、積極的に他園のお子さまとの交流を図っております。
	27 事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	2.0	カフェを広く開放しております。
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニングなどの支援を行っているか。	2.2	保護者さま向けのイベントの開催ができておりませんが、フィードバックの時間をしっかりと取り、保護者さまのご心配事やご相談を受ける時間を大切にしております。
	29 関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	30 契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.8	
	31 保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.0	
	32 保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	2.7	今年度は、保護者さまとの勉強会や連携が取れるような会の開催ができませんでした。次年度以降、就学相談会、ペアレントトレーニングなどを中心に、保護者さま同士の連携が取れるよう努めてまいります。
	33 お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	3.7	
	34 掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	3.3	
	35 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	3.8	
	36 個人情報の取扱いに十分注意しているか。	3.7	
	37 職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	3.5	
38 保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。			
非常時の対応について	39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.2	年間を通し、マニュアルを読み込む機会を持ち、全職員がマニュアルに沿った行動ができるよう努めております。
	40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	3.7	
	41 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.3	
	42 ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	3.2	当事業所でおきた事象に限らず、法人全体で起きている事象を共有しています。
	43 非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
満足度について	44 利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.0	
	45 つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することがあるか。	4.5	
	46 設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		

アンケート実施期間：2019年10月

全回答数：6

発達支援つむぎ 吉祥寺ルーム